

# 沈黙の杜に

(昭和六十年竊歌)

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

## 一

沈黙の杜に春來告げる  
芳香馨し辛夷の花よ  
純白き残雪未だ消えやらす  
永き寒冬偲はるる哉  
郷愁胸に充滿つるとも  
されど恵迪此処に在り

## 二

水恋鳥の哀しき聲に  
我故知らず涙流しぬ  
短き夏と認識りはすれども  
樹々色づきてはや盛夏逝きぬ  
哀愁胸に充滿つるとも  
されど憧憬恵迪に在り

## 三

紅雲流るる黄昏どきに  
夕細道は幽か続きて  
何望むなく彷徨ひゆける  
この現身を悲哀しみにけり  
愁心胸に充滿つるとも  
されど青春恵迪に在り

## 四

雪舞ひ踊る白銀の世よ  
天指す枝柯に樹氷咲く  
数多群なす星座の中に  
我に向かいて天狼星光る  
寂寥胸に充滿つるとも  
されど經營恵迪に在り

## 五

弛むことなく唯時は逝き  
生きとし生けるものは去りゆく  
其は人の世の眞理なれども  
限れる生を燃やし尽さむ  
追憶胸に充滿つるとも  
されど恵迪永遠に在れ